

# 北新川駅周辺まちづくり基本構想 概要版

～ やろまい、北新(きたしん)！ 選ばれるまちを目指して ～

## 1. 基本構想の目的

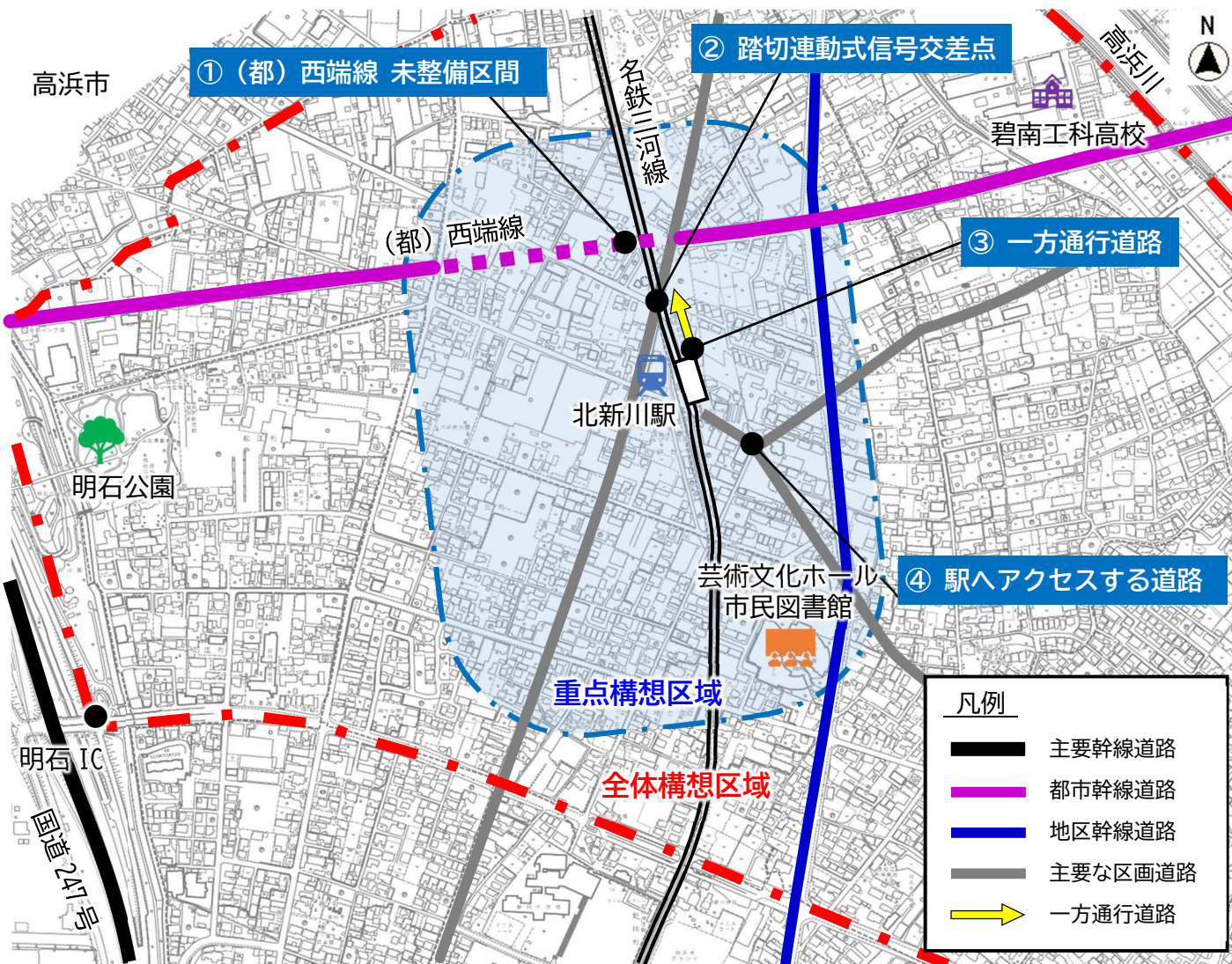
名鉄三河線北新川駅周辺は、「碧南市都市計画マスタープラン 2019-2030」（以下、「都市計画マスタープラン」という。）において、地域特性や公共交通を活かした多様な交流を促進するため、商業機能及び居住機能を推進するサブ拠点（サブ核）として位置づけられています。また、昨今の社会情勢と同様に、碧南市においても将来の人口減少や少子高齢化に対応するため、駅周辺の市街地に都市機能や居住を集約する、持続可能なまちづくりが重要です。

都市計画マスタープランにおける新川地域の地域別構想では、北新川駅周辺の主要な事業として、「駅周辺の基盤整備」や「都市計画道路 西端線（以下、「(都) 西端線」という。）の整備」を位置づけ、駅を中心とした便利で快適に暮らせる市街地形成を目指しています。しかし、これらの具体的な整備方針が定まっておらず、地区のまちづくりを進める上で大きな課題となっています。

このような現状を踏まえ、本構想では、将来のまちづくりの方向性や基盤整備の方針を明確にし、まちづくりの推進を図ることを目的とします。

## 2. 地区の現状と課題

地区の現状を把握し、課題を **交通の環境**、**地区の賑わい**、**暮らしの環境** の3つのテーマに整理しました。特に駅周辺を重点構想区域に位置づけ、重要な課題について下図に示します。



**① (都)西端線 未整備区間**

- 鉄道によって、東西地区が分断されており、利便性が低い
- 周辺の土地利用が図りにくい

**② 踏切連動式信号交差点**

- 複雑な交差点形状をしており、安全性や利便性が低い

**③ 一方通行道路**

- 一方通行道路のため、北側から駅へのアクセスが不可
- 歩道が狭く、すれ違いが困難

**④ 駅へアクセスする道路**

- 線路の西側から駅へのアクセスが悪く、交通利便性が低い
- 駅周辺の道路に歩道がなく、歩行者の安全性が低い

**地区の賑わい**

- 芸術文化ホールや明石公園等の施設間の連携が少なく、地区全体の賑わいに繋がっていない

**駅前広場 (ロータリー)**

- 駅前ロータリーが無く、ピーク時の混雑や送迎車と歩行者等の交錯による危険性が高い

- 駐輪場が不足している
- 夜間は街路灯が少なく暗い場所があり、交通安全性や防犯面において心配する声がある

**重点構想区域全体**

**地区の賑わい**

- 駅周辺に商業施設が少ない
- 空き家、空き地、空き店舗が増えている

**暮らしの環境**

- 身近な公園や緑地が少ない
- 駅周辺に歩道がなく、地区の回遊性が低い

## 3. 基本方針

地区の現状と課題を踏まえて「交通」「賑わい」「暮らし」の3つを基本方針として定め、それぞれの取組みが連動することにより相乗効果を発揮し、事業効果が最大化することを目指します。

**方針1 交通** 駅を中心とした公共交通を活かした交通利便性の高いまちづくり

- 取組方針 1-1 道路ネットワークの構築
- 取組方針 1-2 交通結節点としての機能の強化
- 取組方針 1-3 安全で快適な道路環境の整備

**方針2 賑わい** 交通・交流拠点となる駅を中心に地域資源を活かした賑わいのあるまちづくり

- 取組方針 2-1 駅周辺の賑わいの創出
- 取組方針 2-2 駅周辺の地域交流の促進
- 取組方針 2-3 既存施設との連携と地域資源の活用

**方針3 暮らし** 芸術文化ホールや明石公園、学校等の既存施設と連携した暮らしに寄り添うまちづくり

- 取組方針 3-1 地域や駅利用者に親しまれる憩いの空間整備
- 取組方針 3-2 緑の潤いある住環境の向上
- 取組方針 3-3 地区の回遊性の向上

## 4. 実施方針・整備目標

基本方針に基づく整備及び取組みの実施方針（取組施策）と、整備の進捗の目安となる整備目標を定めます。

### ◆ 基本構想図

#### 1-1 道路ネットワークの構築

取組施策 No.①、②

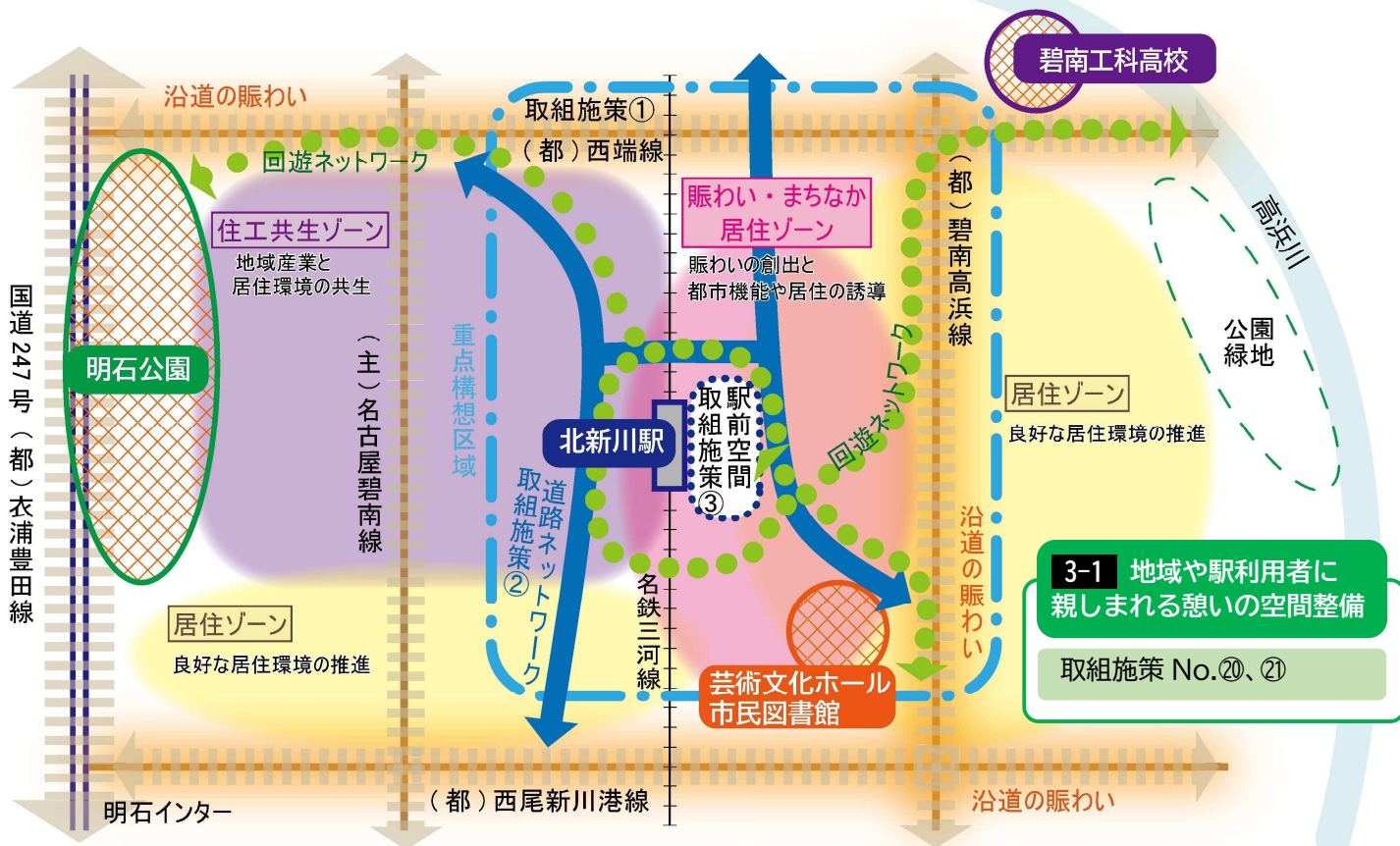
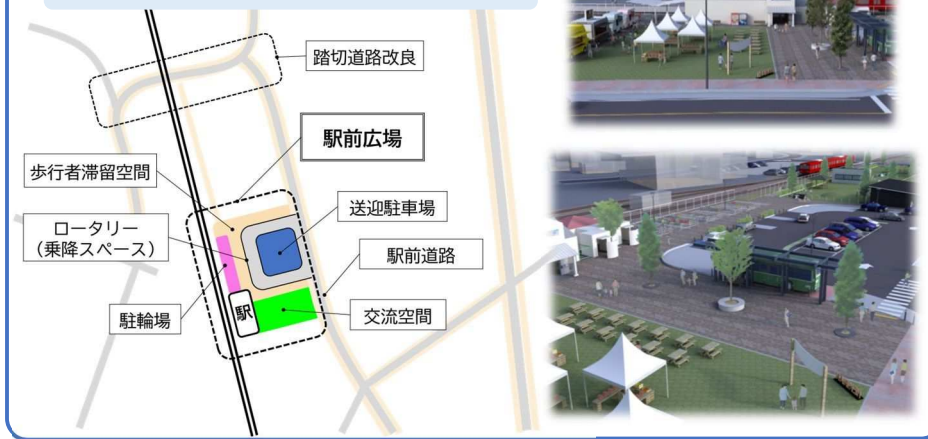


#### 1-3 安全で快適な道路環境の整備(地区全体)

取組施策 No.⑦、⑧、⑨

#### 1-2 交通結節点としての機能の強化

取組施策 No.③、④、⑤、⑥



#### 2-1 駅周辺の賑わいの創出

取組施策 No.⑩、⑪、⑫、⑬、⑭



#### 2-2 駅周辺の地域交流の促進(地区全体)

取組施策 No.⑮、⑯、⑰

#### 2-3 既存施設との連携と地域資源の活用

施策 No.⑱、⑲

#### 3-2 緑の潤いある住環境の向上(地区全体)

取組施策 No.⑳

#### 3-3 地区の回遊性の向上(地区全体)

取組施策 No.㉓、㉔

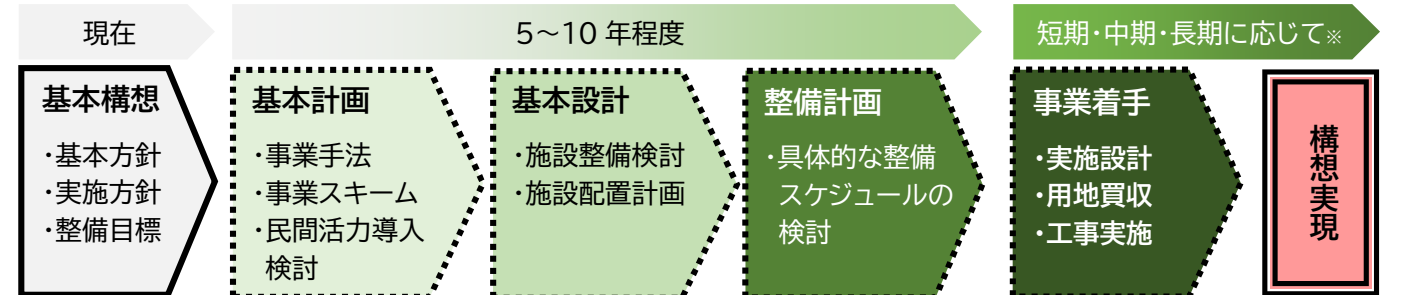
※基本構想図は現時点における整備イメージのため、今後の関係機関等との調整により、計画が変更となる可能性があります。

## ◆ 取組施策及び整備目標一覧

基本方針	取組方針	No	取組施策	構想区域			事業主体			整備目標		
				重点	全体	行政	民間	短期	中期	長期		
方針1 交通	1-1 道路ネットワークの構築	①	(都)西端線の整備(アンダーパス化)	○	○							
		②	駅周辺の道路ネットワーク整備(駅へのアクセス向上)	○	○							
		③	駅前広場(ロータリー)の整備	○	○							
	1-2 交通結節点としての機能の強化	④	駐車場の適切な配置	○	○	○						
		⑤	無料駐輪場の整備	○	○							
		⑥	くるくるバスの路線経路の見直し		○	○						
	1-3 安全で快適な道路環境の整備	⑦	駅と周辺幹線道路を繋ぐ道路の歩道設置	○	○							
		⑧	狭い道路の整備促進事業(後退用地の買取制度)の活用		○	○	○					
		⑨	駅前広場や道路等のバリアフリー化	○	○							
方針2 賑わい	2-1 駅周辺の賑わいの創出	⑩	土地利用の用途変更(住居系から商業系)	○	○							
		⑪	地域資源を活かした駅前空間の整備	○	○							
		⑫	空き家、空き地、空き店舗の活用	○	○	○						
		⑬	商業施設立地の促進	○	○	○						
	2-2 駅周辺の地域交流の促進	⑭	助成制度の活用	○	○	○	○					
		⑮	民間活力の導入検討	○	○	○						
		⑯	地域行事やイベントの実施	○	○	○	○					
		⑰	多様性への対応(ユニバーサルデザインの推進)		○	○	○					
		⑱	既存施設との連携と地域資源の活用	○	○	○	○					
方針3 暮らし	2-3 既存施設との連携と地域資源の活用	⑲	芸術文化ホール、明石公園等の周辺施設との連携	○	○	○	○					
		⑳	地場産業のPR		○	○	○					
	3-1 地域や駅利用者に親しまれる憩いの空間整備	㉑	ベンチ、トイレ、Wi-Fi等の休憩施設の設置	○	○							
		㉒	街路灯(防犯灯)の設置	○	○							
		㉓	身近な公園・緑地の整備	○	○	○						
3-2 緑の潤いある住環境の向上	㉔	散策マップ等による商店・施設の案内		○	○	○						
	㉕	案内サイン等の設置	○	○								

## 5. 今後の予定

事業実施に向けて継続的に検討を進めます。事業実施にあたっては、短期・中期・長期の整備目標に基づく具体的な整備スケジュールを検討し、早期の事業着手を目指します。



※整備目標の短期は事業着手から10年程度、中期は20年程度、長期は事業進捗に応じて検討する。

## 6. 基本構想の実現に向けて

本構想の策定にあたり、町内会や各種団体に加え、公募市民による検討会を組織し、多角的な視点からまちづくりの方向性を検討してきました。また、検討会の活動状況を「かわら版」として区内内で回覧し、地域住民のまちづくりへの関心を高めるとともに、市民アンケートによる「地域の声」を参考に検討を進めてきました。

今後も本構想の実現に向け、地域住民をはじめとした市民の視点を大切にしながら、市民協働と官民連携によるまちづくりを目指します。

北新川駅周辺まちづくり基本構想 概要版

発行：令和8年6月

TEL：0566-95-9905(直通)

編集：碧南市 建設部 都市計画課

Mail：tosikeka@city.hekinan.lg.jp

基本構想本編  
はこちらから  
(碧南市HP)

